



学校だより/姫川原小

# 6月



## 考える力を育てる

「校長先生にお願いがあります。

山羊を飼ってもいいですか。」

二回に渡って動物ランドを見学し、大動物とふれあった一年生が、山羊を飼いたいという結論を出したようだ。運動会を経験し、ここ二ヶ月で目を見張る成長を遂げている。

何でもできると信じている。勢いだけの楽しさで、自分たちで育てられると言い張ってきた。そこで、私の出番は、「本当に飼えるのかね」と、揺さぶりをかけることだった。かわいだけでは済まされない覚悟があるのか、という問い直しでもある。

早速、教室に戻り、山羊会議が始まった。頭をつきつけながらの話合いは、一人一人が同時に呟きながら、言いたいことは大きな声で「ねえ、聞いて」と力がこもる。発言する人にみんなの目が注目し、真剣になっていった。課題によっては、用務員さんに頼もうなどと、都合の良い論理も生まれながらも、本題にもどっていった。

日頃時間がなく、一度の話し合いで多数決という方法もあるが、とことん話し合う経験を、小さい時から積むことは大変重要である。「山羊を飼うことができるか」何日間か問い直しを繰り返す中で、改善策が生まれ、相談した大人の知恵も加わった。大変だけれど、それでも飼いたいという気持ちが増えたのだ。一年生はこれから「責任」を学んでいく。

ちょうど今日、高学年が妙高市内のミニバスケットボール大会で、男子優勝、女子二位という快挙をなした。ゲームの回数と共に成長していった子どもたち。技能だけでなく、試合の中で「考える力」が育っていった。

# 創立百四十周年記念

## 地区合同運動会

### 快晴の中 開かれる

天気の心配をしないで済む運動会は初めてです。青い空の下、今年全員でそろえた姫小Tシャツが、ジャパンブルーのように青空に映えています。

妙高市内各小学校で一斉に行われた五月二十五日、百四十年を聞きつけてか、昨年以上の大勢の方からお集まりいただき、にぎやかな中で最後まで日程を終えることができました。

終日の応援ありがとうございました。

### 今年の工夫・改革

PTA

フリー参加のじゃんけん列車を、じゃんけん勝ち抜きゲームに。紙テープの首飾りを用い、勝者が誰であるかわかりやすいように工夫しました。大人も子どもと一緒に、じゃんけん一つに燃える楽しいひと時でした。

地域

あんちゃ会の発足、おめでとうございます。Tシャツの鮮やかなオレンジ色に、地域活性化にかける熱い思いが表れていました。担当した缶つりの景品では、勝敗に関係なく、缶の裏に書いてある番号というしかけで臨んでくれました。

職員の秘かな取組

「親子で140メートル」という種目名から分かるように、周年記念を祝う内容に工夫。用務員さんはクローバー山にパーナーで字入れを。低学年では、職員の家庭から風呂敷を集め、たくさんのかパン作りに。鼓笛演奏の音楽部では、よりよい音色を目指し、他校へいい音の出る楽器探しに奮闘。閉会式後の大イベント140個の風船を準備するため、ヘリウムガスと格闘した教頭先生や用務員さんなど、それぞれの分野で頑張ってくださいました。



つなひき 全校の力をあわせて



縦割班種目 みんなで協力1・2・3



5・6年鼓笛演奏・4年鍵盤ハーモニカ  
3年フラッグ・1・2年ダンス



盛り上がり最高！マジ走りリレー



親子で仲よく1・4・0



おめでとう140年  
みんなの力で もりあげよう

つながる力 姫小魂





今年も6年生が卒業証書づくりをします。まずは、後援会長さん宅前の「からむし街道」へ行き、学習がスタートしました。一人ずつ苧を採って、学校の鉢に植え替え、毎朝どの位大きくなったか観察をしています。夏には刈り取りをする予定です。

## 地域に飛び出して



2年生の生活科は「野菜づくり」です。六十市に出かけ、自分で育てる野菜の苗を買いに行きました。野菜づくりの先生は、地域の方や自分のおじいちゃん・おばあちゃんです。

今やコミュニティーセンターの隣が立派な畑と化し、購入した苗がすくすくと育っています。毎朝水遣りをしたり芽かきをしたり、教室に入る前にしっかりお世話をする2年生です。

## 鳥坂ぶどうを大切に 3年

3年生は「ぶどうづくり」学年です。プール脇に学校のブドウの木があります。地域の方をぶどうの先生にお迎えし、先月は棚上げ作業。そして、今回はネット張りや、鳥よけのキラキラテープの取り付け作業をしました。昨年は実を付けすぎたというお話を聞き、房を育てる数の選定も大切なことを知りました。次回は袋かけ作業です。甘いブドウを楽しみに地域の皆さんの力をお借りし、頑張っています。



## 閉校特集 ～思い出の品に想いを寄せて～ その2



学校の中にある懐かしいものを紹介していくコーナー、第二弾は廊下の天井からつり下げられている教室表示です。昭和54年・55年早生まれの保護者の中で、「これ私たち作ったんだよ。」と声が聞かれました。同じ名字の先生が二人いた時代、一人の先生が先日懐かしく訪ねてくれました。この表示のおかげで、今も大変助かっています。